

第14期
第11回 鳥取市校区審議会

令和2年7月3日(金) 14:00
鳥取市役所 本庁舎6階 第8会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議事録署名委員の選任 委員、 委員

4 報 告

(1) 第10回校区審議会審議概要について P1～2

5 議 事

(1) 本市の中長期的な校区のあり方について

(2) 千代川以西エリアの学校のあり方について

(3) その他

6 その他

7 閉 会

鳥取市校区審議会委員（第14期）

任期：平成30年10月15日～令和2年10月14日

区分	氏名	所属、職業、住所等	7/3 出欠
学識経験者 (9名)	ほんな としまさ 本名 俊正	鳥取大学名誉教授	出
	なんぶ さとし 南部 敏	鳥取市自治連合会（自治連合会会長）	出
	よねだ けいこ 米田 恵子	鳥取市小学校校長会（国府東小学校校長）	出
	おんだ まさあき 音田 正顕	鳥取市中学校校長会（桜ヶ丘中学校校長）	出
	うえた みつのり 上田 光徳	鳥取市小学校PTA連合会（美和小PTA会長）	出
	よしざわ はるき 吉澤 春樹	鳥取市中学校PTA連合会（北中PTA会長）	出
	かわぐち ゆみこ 川口 有美子	公立鳥取環境大学環境学部准教授	出
	やまだ やすこ 山田 康子	ゆうゆうとっとり子育てネットワーク代表	出
	ふくやま けい 福山 敬	鳥取大学工学部教授	出
公募 (2名)	うしお りゅういちろう 牛尾 柳 一郎	無職（北園1丁目）	出
	もりもと さゆり 森本 早由里	放課後児童支援員（河原町布袋）	出

（順不同、敬称略）

事務局	なかむら たかひろ 中村 隆弘	教育委員会事務局次長(兼)教育総務課長(兼)校区審議室長
	たけた じゅん 竹田 潤	教育委員会事務局教育総務課校区審議室主幹 (兼)学校教育課指導主事
	ほりむら さとし 堀村 聡志	教育委員会事務局教育総務課校区審議室主任

第14期 第10回 鳥取市校区審議会の審議概要について

- 1 日 時 令和2年5月11日（月）14時00分 ～ 16時37分
- 2 会 場 鳥取市役所 本庁舎6階 第7会議室
- 3 出席者 本名俊正委員（会長）、南部敏委員（副会長）、米田恵子委員、上田光徳委員、吉澤春樹委員、川口有美子委員、山田康子委員、福山敬委員、牛尾柳一郎委員、森本早由里委員
事務局：中村隆弘次長、竹田潤主幹兼指導主事、堀村聡志主任

4 報告事項

- (1) 校区審議に関する活動報告
- (2) 第9回校区審議会審議概要について

5 議 事

- (1) 本市の中長期的な校区のあり方について

本市の中長期的な校区のあり方を考えるにあたり、答申案を確認し、エリア分けのパターンやエリア名称などについて議論を行いました。

【主な意見】

- ・エリアの名前はすでに行政で使用している名称があれば統一する方がいいのではないかと。河原・用瀬を南ブロック、鳥取西エリアを中央ブロック、それ以外に東西南北を振るようにしてもいいのではないかと。
- ・「気高」という名前は使わずに気高を「西の2」、西を「西の1」という名称にしてはどうか。
- ・この旧市内にある「北」と「東」と「西」はこのままでいいのではないかと。郡部は地名を残した方がいいのではないかと。気高郡は「気高」校区、八頭郡ですので「八頭」校区にした方がいいのではないかと。
- ・鳥取北を「北東」、鳥取西を「北」、西を「西」、鳥取南を「東」、南を「南」というふうにするのもできるのではないかと。
- ・4、5ページの学校の規模のグラフはわかりやすい。同じページに上が現在で、下に令和21年の内容を載せれば、自分の学校がこうなるというのがわかるのではないかと。
- ・令和22年度の生徒数は詳細には分からないので、載せないでクラスの数概ねこのクラスになるという程度にしてはどうか。
- ・7ページの鳥取市の基本方針の、特に郷土愛を醸成しというところは、学校が合併し、学校がなくなる地域があっても地域に残る伝統的な文化は合併した学校が何らかの形で引き継ぐことがあると思う。この鳥取市の方針というのはここに明確に載っているのは大事なことはないかと。
- ・概ね20年後の学校数の例は削除しても良いのではないかと。
- ・概ね20年後の学校数の例について、適正規模の中学校を単独で存続させるのは難しいという現状をはっきり書いてあるので、これがあるのもいいのではないかと。
- ・12ページの表で義務教育学校のみ取り上げられ、13ページ以降は含む義務教育学校という形で示されることがしっくりこない。

【会長総括】

エリア名はシンプルに「東、西、南、北」、あるいは「西の1、西の2」あるいは「気高、八頭」を入れた方がいいのではないかなど意見があったので参考にしながらまた提案したい。概ね20

年後の学校数の例は、多くの方が削除してもいいのではないかということであった。義務教育学校を単独で出すか、13ページ以降のように含むという形で数字を載せていくか、この辺はゆとりがある方がいいのではないか。含むという形でまとめていった方がいいのではないか。答申はおおよそ20ページくらいにし、例えば小規模学校についての記述がないので、記述するかどうか含め検討が必要かもしれない。

(2) 千代川以西エリアの学校のあり方について

城北小校区の千代川以西エリアについて、中長期的な学校のあり方を踏まえての議論を行いました。またその議論を踏まえ具体的な校区再編案、義務教育学校の設置また答申方法などについて協議しました。

【主な意見】

- ・新設の義務教育学校のパターンと学校をそのまま変更する場合の2案ぐらい出し、それを次期に持ち越す。今のスケジュールで行けばそうになってしまうのではないか。
- ・千代川を境界として千代川の西、以西の学校に通学することをきちんと示していく必要があると思う。その具体的な選択肢は、地区で議論してもらう。
- ・別答申にしないのであれば「本市の中長期的な校区のあり方について」の答申の7章あたりにくるのではないか。留意事項は8章にずらすという流れになるのではないか。
- ・概ねいつごろまでにという目標年度を書く必要があるのではないか。校区を千代川で分けるのをいつまでにするのか、資産価値などを考えたときにこのへんが落とすところだということを提案に含めるのがいいのではないか。
- ・最初の答申は中長期で考えた内容になっており、千代川以西エリアの方は緊急課題として議論してきたことなので別々に答申をしたい。千代川を渡って危険だという考えを強調していきたい。14期で大規模な義務教育学校はどうだろうという案が出てきたことには魅力を感じてもらえる。
- ・別答申で出した方がいいのではないか。千代川以西についてはもう少し内容を城北の生徒数のことも含めて、もう少し膨らませて出してもいい。
- ・川を渡らないという内容の答申をだすべきだと思う。一番の原因は危険だと自覚して、我々も答申を出すべきだと思っている。
- ・広い範囲で校区を編成したら、新しい学校も出来るかもしれないという希望が少し見えているのでそういうところを答申に入れてもらえたらいいのではないか。

【会長総括】

早急に議論が必要な学校区のあり方については別立てでという感じで思っていたので、次回以降検討していきたい。千代川以西については、ここ数年で結論を出す方がいいだろうと思う。千代川を渡らないという形での結論を別立ての答申案として出したいと考えている。

また教育の仕組みが一気に変わる中で、少人数でも魅力ある学校ができるかもしれない。そのことを踏まえながら、義務教育学校を含むというまとめ方で学校数を出していきたい。